

4年生「音楽科」の学習 —— 4年生では、こんな学習をします。

* 学習の目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動の意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- (2) 旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにします。
- (3) 音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにします。

☆授業の工夫

- ・旋律の特徴をとらえたり、旋律のまとまりや旋律の反復、変化などにも気づいたりして、歌唱や器楽での表現の仕方を工夫できるように進めます。
- ・歌唱では、日本語の美しい発音や響きのある自然な歌声に気づきながら、表現の仕方を工夫していく活動を進めます。
- ・アンサンブルや合奏などの活動を通して楽器の演奏の仕方を工夫しながら表現の能力を高める活動を進めます。
- ・音色の違いや美しさを味わう活動を進めます。

☆年間の学習計画

前 期		時間	3	9	5
単 元 ・ 題 材	1 歌と楽器のひびきを合わせよう 子どもの世界 さくらさくら 歌のにじ とんび	10	3 いろいろな音のちがいを 感じ取ろう 音のカーニバル 木管楽器の音楽をきこう ※今月の歌	9	5 曲の気分を感じ取ろう オーラーリー 他 ※今月の歌
			後 期	時間	6 音をきき合って合わせよう 茶色的小びん
	2 日本の音楽に親しもう 花がさ音頭 こきりこぶし 他	11	4 ふしのとくちょうを感じ 取ろう もみじ・あいのあいさつ ピチカートポルカ	10	7 いきいきと歌おう 歌よ ひびけ 他 * 君が代・校歌 ※今月の歌
			補 充 ・ 発 展 学 習		

☆評価の観点

【音楽への関心・意欲・態度】

- ・音楽に関心を持ち、進んで活動しようとする。

【音楽的な感受や表現の工夫】

- ・音楽のよさや美しさを感じ取り、表現の仕方を工夫できる。

【表現の能力】

- ・自然で無理のない声で歌い、音色に気をつけて楽器を演奏できる。

【鑑賞の能力】

- ・曲想の変化を感じ取って聴くことができる。

☆評価の方法

- ・普段の学習態度や発表
- ・プリント整理
- ・実技のテスト

などを総合的に評価します。